

2026年度 町田市立木曽中学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和8年3月31日

<p>学校教育目標 知性を磨き 意志を鍛え 健康な心からだをつくる</p> <p>○目指す学校像………○全ての生徒が「美しい」と思える学校 ○個が生き、相互に関わり合うことで集団として高み合える学校 ○保護者、地域と共にある魅力ある学校 ○目指す児童・生徒像………○当たり前のこと当たり前に行なう生徒 ○自願的に向かって前向きに取り組む、自ら、課題に対して自ら解決する生徒 ○目指す教師像………○教育への情熱をもち、専門性を高め、常に生徒のよりの育成を考えた指導を目指す教師 ○社会人としての常識を踏まえ、教育公務員であることの自覚をもち、公明正大に人間愛に溢れている教師 ○生徒、保護者、地域の願いに応えるべく努力を続ける教師 ○ワークライフバランスのとれた働き方を意識して、心身の健康に留意し、効率的に勤務を遂行する教師</p>	<p>学校経営の重点 ①授業改革の推進による授業力の向上 ②キャリア教育の推進 ③特別支援と不登校対策の充実 ④生活指導力の向上</p> <p>重点目標の成果と課題</p>
---	--

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価	評価		
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	時機を得た積極的な情報発信を行い、開かれた学校、見える学校づくりを進める。	学校だより、学年だより、ホームページによる発信を計画的に行い、学校の情報を定期的に発信する。	4 だよりを学期に3回以上、HPは月4回以上の更新			4 保護者アンケート満足率80%以上								
			各種アンケートや学校評価をICTを活用して行い、回収率を80%以上にする。	3 だよりを学期に2回以上、HPは月3回以上の更新 2 だよりを学期に1回以上、HPは月2回以上の更新				3 保護者アンケート満足率70%以上 2 保護者アンケート満足率55%以上							
			課題やICTを活用して、家庭学習を定着させる。また、年間を通して、Qubenaを活用した学習に取り組む。	1 だよりを年に1回発行し、HPは月2回未満の更新				1 保護者アンケート満足率55%未満							
			家庭や地域の教育力を活用した教育活動を実施する。	4 アンケートの80%以上で取組を実施 3 アンケートの80%以上で取組を実施 2 アンケートの70%以上で取組を実施				4 アンケート回収率80%以上 3 アンケート回収率70%以上 2 アンケート回収率55%以上							
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が導く授業改革を進め、主体的・対話的で深い学びを実現することで、基礎的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	幅広い知識と教養に裏付けられた専門性を高め、生徒の学ぶ意欲を高め、学習習慣の定着を図る。	学習環境や指導者の共通理解を深め、生徒の学ぶ意欲を高める授業を実施する。	1 アンケートの70%未満で取組を実施 2 アンケートの70%以上で取組を実施			1 アンケート回収率55%未満 2 アンケート回収率55%以上								
			ユニバーサルデザインの視点をもって生徒が安心して学ぶ授業を展開する。	4 計画した教育活動の90%以上の割合で実施 3 計画した教育活動の80%以上の割合で実施 2 計画した教育活動の70%以上の割合で実施				4 保護者アンケート満足率80%以上 3 保護者アンケート満足率70%以上 2 保護者アンケート満足率55%以上							
			生徒が主体的に学ぶ機会を設定したり、対話的な学びを深めたりする授業を計画的に展開する。	4 マイ定時活動日を指定した教員の割合が90%以上 3 マイ定時活動日を指定した教員の割合が80%以上 2 マイ定時活動日を指定した教員の割合が70%未満				4 1人当たりの月平均時間内在校等時間前年度比10%以上減少 3 1人当たりの月平均時間内在校等時間前年度比7%以上減少 2 1人当たりの月平均時間内在校等時間前年度比4%以上減少							
			ICTを効果的に活用し、生徒が一人一台のPCを使い、学力の向上を図る。	4 1人当たりの月平均時間内在校等時間30時間以上の割合 80%以上 3 1人当たりの月平均時間内在校等時間30時間以下の割合 60%以上 2 1人当たりの月平均時間内在校等時間30時間以下の割合 50%未満				4 1人当たりの月平均時間内在校等時間前年度比10%以上減少 3 1人当たりの月平均時間内在校等時間前年度比7%以上減少 2 1人当たりの月平均時間内在校等時間前年度比4%以上減少							
豊かな多様な心を涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にすることを意識・態度を育てる。	「特別の教科 道徳」を要として、教育活動全体を通して、自分を理解し、相手を尊重し、生命を大切にすることを思いやる心を育む。	学習環境や指導者の共通理解を深め、生徒の学ぶ意欲を高める授業を実施する。	1 90%以上の授業で実施 2 80%以上の授業で実施 3 70%以上の授業で実施 4 60%以上の授業で実施			1 生徒へのアンケートの結果で97%以上が「よい」と回答 2 生徒へのアンケートの結果で90%以上が「よい」と回答 3 生徒へのアンケートの結果で80%以上が「よい」と回答 4 生徒へのアンケートの結果で70%以上が「よい」と回答								
			様々な障がいや多様性を理解し、生徒が安心して登校できる環境を整え、一人一人を高め伸ばしていくような教育活動を行っている。	1 活用できる場面の90%以上の単元で実施 2 活用できる場面の80%以上の単元で実施 3 活用できる場面の70%以上の単元で実施 4 活用できる場面の60%以上の単元で実施				1 生徒へのアンケートの結果で97%以上が「よい」と回答 2 生徒へのアンケートの結果で90%以上が「よい」と回答 3 生徒へのアンケートの結果で80%以上が「よい」と回答 4 生徒へのアンケートの結果で70%以上が「よい」と回答							
			不登校対応巡回教員と連携し、不登校気味の生徒が利用できるスペース(エンカレッジルーム)の体制を整え、不登校対策に取り組む。	1 70%未満の授業で実施 2 70%以上の授業で実施				1 生徒へのアンケートの結果で55%未満が「よい」と回答 2 生徒へのアンケートの結果で55%未満が「よい」と回答							
			不登校対応巡回教員と連携し、不登校気味の生徒が利用できるスペース(エンカレッジルーム)の体制を整え、不登校対策に取り組む。	1 90%以上の指導場面で実施 2 80%以上の指導場面で実施 3 70%以上の指導場面で実施 4 60%以上の指導場面で実施				1 生徒へのアンケートの結果で97%以上が「よい」と回答 2 生徒へのアンケートの結果で90%以上が「よい」と回答 3 生徒へのアンケートの結果で80%以上が「よい」と回答 4 生徒へのアンケートの結果で70%以上が「よい」と回答							
健全な生活習慣の身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自・共・体の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実させる。	運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図り、丈夫な体を作り、体力の向上を図る。	校内の危機管理体制を確立し、安全安心な環境を整え、危険予知、危機対応力を身に付けるよう安全教育を進める。	健康で丈夫なからだをつくるため、給食指導を通して食育教育を推進する。	1 90%以上の指導場面で実施 2 80%以上の指導場面で実施 3 70%以上の指導場面で実施 4 60%以上の指導場面で実施			1 学校評価アンケート「エ」(「進んで運動」)肯定的評価 80%以上 2 学校評価アンケート「エ」(「進んで運動」)肯定的評価 70%以上 3 学校評価アンケート「エ」(「進んで運動」)肯定的評価 55%以上 4 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 80%以上 5 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 70%以上 6 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 55%以上								
			具体的場面で想定した避難訓練や安全指導を毎月実施し、生徒自ら危険や危機に対応できるように指導する。	1 70%未満の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施				1 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 80%以上 2 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 70%以上 3 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 55%未満 4 保護者アンケート満足率80%以上 3 保護者アンケート満足率70%以上 2 保護者アンケート満足率55%以上 1 保護者アンケート満足率55%未満							
			生徒の問題行動や安心・安全等に関わる情報を共有し、組織的な指導、支援を行う。	1 90%以上の必要情報に対して実施 2 80%以上の必要情報に対して実施 3 70%以上の必要情報に対して実施 4 60%以上の必要情報に対して実施				1 保護者アンケート満足率80%以上 2 保護者アンケート満足率70%以上 3 保護者アンケート満足率55%以上 4 保護者アンケート満足率55%未満							
			健康で丈夫なからだをつくるため、給食指導を通して食育教育を推進する。	1 70%未満の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施				1 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 80%以上 2 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 70%以上 3 学校評価アンケート「エ」(「食習慣・生活習慣」)肯定的評価 55%以上							

<p>取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)</p> <p>取組指標平均 3.5以上 ⇒ 評価A 取組指標平均 3以上3.5未満 ⇒ 評価B 取組指標平均 2以上3未満 ⇒ 評価C 取組指標平均 2未満 ⇒ 評価D</p>	<p>成果指標評価基準</p> <p>成果指標平均 80%以上 ⇒ 評価A 成果指標平均 70%以上 ⇒ 評価B 成果指標平均 55%以上 ⇒ 評価C 成果指標平均 55%未満 ⇒ 評価D</p>	<p>学校関係者評価の評価基準例</p> <p>A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい C⇒ 目標達成には至らなかったため、次年度の改善が必要 D⇒ 重要な課題があるため、次年度、重点的に改善</p> <p>※ 学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。</p>
--	--	---

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。